

裏磐梯の様々な生物

T.O

僕はこれまで、カエルのことを調べてきました。だから、林間学校では、カエルを見つけないかと思っていました。

1日目は、まず、天鏡閣というところに行きました。中は昔の様子で、暖炉などもあり、とても昔っぽかったです。その次はやっと自然の中に出ました。自然を見たら、まず木にみんな注目しました。横田清美先生はなんでも知っていて、僕たちにとても詳しく何でも教えてくれました。だから、横田先生はその木を見つけたときに僕たちに問題を出してくれました。それは「この木の樹液は野球で使う、何かになる」と言っていました。その木はアカマツの木で、僕は大きな声で「ロージン」と言いました。そしたら当たっていました。アカマツという木の樹液は茶色っぽくて、それがあの白いロージン(滑り止め)になるなんてすごいなと感心していました。



すると、次は草がたくさんあるところに何かいると言っていました。近づいてみると僕の調べていたカエルでした。1日目で見つかるなんてすごいなと思いました。やっぱり自然の中に行けばいるのだなということがわかりました。

そのカエルの名前はアマガエルというカエルでした。横田先生はアマガエルの体の特徴を教えてくださいました。アマガエルは、近くにある物などの色に応じて、体の色を5～10分に変えられるということを聞いたので、すごいなと思いました。自分の調べているものに会えたときの感動は、とてもすごいものでした。そのときは、また見たいと思いました。

そして、次に見たのが、触ったら体がかゆくなるという葉っぱでした。それは、特に皮膚の弱い人がかゆくなってしまうと言っていたので、皮膚の弱い僕なんかは危ないなと思いました。そういうような危ない植物もあるということも、横田先生は教えてくださいましたので、これからの役に立つと思います。



危ない葉っぱを見終わって、また前に歩いていたら、巨大なキノコがありました。少し、ピンク色をしたキノコでした。それをよく見ていると、そのキノコの近くに何か大きいものがあるとわかりました。すると、横田先生が「それは、大きなナメクジ！」と言いました。名前は、ヤマナメクジといます。普通のナメクジの長さの3～4倍はあったのでビックリしました。そのヤマナメクジは寝ているのかなと思ったけど、よく見るとそのヤマナメクジが巨大なキノコを食べていました。驚きました。

そして、また5～10分歩いていたら、木のところに熊の爪跡が、ありました。とても、

巨大なキノコ
を巨大なナメ
クジが食べて
いるところ！



鋭い爪跡で、くっきりとひっかいた跡が残っていました。やはり熊は怖いなど改めて思いました。それは、森のような林みたいなところの木にありました。

熊の爪の跡
とても鋭い



次に、横田先生が「すごく頭を使っている植物もあるのだよ」と言ったので、僕は「何だろう？」と思いました。それは、とても小さい赤い実で、鳥などが食べに来て、その種

を運んでもらうというものでした。しかし、その実は赤くて美味しそうに見えるが、中は全然果肉が入っておらず、ほとんどが種という実です。実の中の果肉はそんなに食べられず、種を鳥などに運んでもらって、どんどん実を増やすという頭のいい作戦だなと思いました。

その後は猪苗代湖へ行きました。そこではそのとき天気が悪かったので、波も荒れていました。だけど、晴れた日はきれいなのだろうなと思いました。



この日は、天候
が悪く波は、荒れ
ていた。

1日目の自然体験学習はこれで終わりでした。1日目は調べているカエルも見ることができず、半日だけだからあまり多くは学べないかなと思っていたけど、横田先生は何でも知っていたため、たくさんのことを学ぶことができました。とても勉強になりました。

2日目は1日中調べて行動できるので、いろいろと勉強したいと思っていました。そして、2日目に僕が行ったところはバードウォッチングでした。バードウォッチングの講師は草野先生でした。草野先生は鳥について本当に詳しく、そして草野先生は鳥を見つけるときのポイントをこう言っていました。「鳥を見つけないから普通の人には動いて鳥を探してしまうが、逆に動いてはいけない。鳥が近寄って来るからです」と言っていました。その通りにぼくたちは、動かずに鳥を待っていたら、鳥がどんどん飛んできました。そして、草野先生は僕の住んでいる布佐にもいるカラスの話をして下さいました。カラスには2種類あって、ハシブトガラスとハシボソガラスがいます。ハシブトガラスは口ばしが太くて、ハシボソガラスは口ばしが細いという話を聞きました。



カラスには、
口ばしが太い
カラスと細い
カラスがいま
す。

そして、この日も自然の中を歩いていたので、カエルはいないかなーと思っていました。少し歩いたところに、草の上にとても草と同じような色をした何かが見えました。よく見るとそれは、モリアオガエルというカエルでした。このカエルと1日目のカエルに共通していることは、どちらも葉っぱの上や草の上にいることです。それはどうしてかという、カエルは湿原というところに



いるからです。そして、今回も湿原のような葉っぱや草がたくさん生えているところに行きました。すごいなと思いました。

1日目も2日目も調べてきた、カエルを見ることができて本当に良かったです。さらに、そのカエルについて、先生たちが体の特徴を教えて下さったので本当に良かったです。

そして、自然体験学習が終わって、2日目の夜に、キャンドルファイヤーの出し物を自分たちで考えて出すというのを林間に行く前に言われたので、出し物は林間に来てからクラスで話し合いました。最初の話し合いはぜんぜん決まらなかったけど、2日目の夜に話し合ったら出し物がなんとか決まったので良かったです。2日目の夜のキャンドルファイヤーは、歌もたくさん歌ってとても緊張のあるキャンドルファイヤーでした。そして、2組の出し物が終わり、僕たちの出し物に移って、緊張しましたが、みんな笑ってくれていたのが良かったです。みんなで必死になって考えたかいがありました。キャンドルファイヤーでクラスのみなどと努力して出し物を考えて、本番では笑ってもらえて、歌もたくさん歌って、本当に嬉しかったです。

3日目の朝、その日はウォークラリーでした。ウォークラリーは班員が協力することが大事だと思いました。僕たちは、全組全班の中で1番最後にスタートしました。歩いていたら、前に出発していた人たちに会って、どんだんぬかしていきました。最後まで休憩も、2回しかとりませんでした。それも1分間だけでした。とにかくゴールしたいという思いでした。そしたら、とうとう、最初に出発したグループに追いついてしまいました。だけど、最後の問題を見るのを忘れてしまって、戻ってみた分遅くなってしまいました。ゴールしたときに、もうみんなゴールしていたので、やっぱり遅かったなと思っていたら、「3組で自力ゴールしたのは6班だけだよ」というのを聞いて嬉しかったです。そして、ウォークラリーの順位は、なんと3位でした。とても嬉しかったです。班員で協力してゴールできて、しかも3位になれたので良かったです。

僕が調べたカエルは、湿原にいたことがわかっていました。実際、林間学校でカエルを見ることができて、本当に湿ったところや葉の上などにいました。本当に調べたところだったので感動しました。そして、僕が調べられなかったアマガエルは、土や葉などの上に応じて体の色を変えるということを知りました。それを教えて下さった横田先生は、とてもたくさんを知っているのだなと感心しました。僕はそんなことを知らなかったので、まだまだだめだなーと思いました。そして、モリアオガエルは、とても葉っぱの色に重なるくらい色がキレイでした。本物を見られてとても感動しました。他にも見たかったのですが、見られなくて残念でした。これからもカエルをしっかりと調べていきたいです。